

おうちにくよ



令和5年度 第2回 介護・医療連携推進会議

- 日時:令和6年2月16日(金) 14:00~15:00
- 会場:株式会社 エール フリースペース
- 主催:株式会社エール

24時間訪問介護看護 ケアステップ エール

(岡山市指定 定期巡回・随時対応型訪問介護看護事業)

yell!



議事

開会挨拶

定期巡回・随時対応型訪問介護看護について

利用の現状について

症例発表

課題について

質疑応答／意見交換

次回日程のご案内(令和6年度 第1回)

(案)令和6年8月16日(金)14:00~15:00

yell!



地域包括ケアシステム

地域包括ケアシステム

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を実現**していきます。
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要です。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差が生じています。**
地域包括ケアシステムは、保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていく必要があります。



出典:平成28年3月 地域包括ケア研究会報告書より

yell!

定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス概要

正式名称は、

定期巡回・随時対応型訪問介護看護



創設の経緯

訪問介護などの在宅サービスが増加しているものの、重度者を始めとした要介護高齢者の在宅生活を**24時間支える仕組み**が不足していることに加え、医療ニーズが高い高齢者に対して**医療と介護との連携**が不足しているとの問題がある。

このため、①日中・夜間を通じて、②訪問介護と訪問看護の両方を提供し、③定期巡回と随時の対応を行う定期巡回・随時対応型訪問介護看護を創設。
(2012年4月)

※2018年1月時点での請求事業者数:853事業所



「**住み慣れた家で最期まで**」を叶えるサービス。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの利用条件

1 要介護認定者であること

重度化の防止・ADLの向上を基本理念とした、要介護者に向けたサービスです。

2 住所地が岡山市であること

地域密着型サービスであるため、岡山市に住民票がある方のみが対象となります。岡山市に在住で、住民票が他の市区町村にある場合、**住所地特例の適用**が認められれば、例外的に利用することもできます。

3 訪問介護・夜間対応型訪問介護・訪問看護との併用不可

サービス内容が重複するため、定期巡回サービスと併用することはできません。ただし、**通院等乗降介助のみ、併用可能**です。



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービス内容



定期巡回サービス

訪問介護員が計画書に基づいて1日複数回・短時間の介護サービスを巡回して行うもの。



随時対応サービス

利用者やその家族等から24時間365日緊急時等に連絡を受け、訪問の可否を判断するもの。



随時訪問サービス

随時対応サービスの訪問の可否の判断に基づき、利用者宅を訪問して介護サービスを行うもの。



訪問看護サービス

医師の指示に基づき、看護師等が利用者宅を訪問して看護サービスを行うもの。

適切なアセスメントとマネジメントに基づいて、介護サービスと看護サービスが連携を図りつつ、「短時間の定期訪問」、「随時の対応」といった手段を適宜・適切に組み合わせて、1日複数回、「必要なタイミング」で「必要な量と内容」のケアを一体的に提供するものであり、4つのサービスが提供されます。

yell!



定期巡回・随時対応型訪問介護看護のサービスの特徴

1 ケアプランの協同作成

定期巡回事業所の**計画作成責任者**が、ケアマネジャー、看護師と共にケアプランを作成します。制度上、「いつ、何回行って、何を**するか**」(≡ケアプラン3表)の**裁量権は、定期巡回事業所に持たされています。**



サービス量の適正化を目的とした制度設計

2 2時間ルール・20分ルール適用外

従来のサービスでは不可能とされていた、**2時間以内の再訪問**や、**20分未満のサービス提供**が可能です。




相互関係


3 包括報酬

要介護度に応じた月あたりの定額制です。
※日割りでの利用も可能。



アセスメントの徹底

 ケアマネジャーの視点
(総合アセスメント)

 看護師の視点
(医療アセスメント)

 定期巡回の視点
(頻回なアセスメント)



計画書(第一版)を作成



利用者を様々な視点から立体的に捉えたうえで、定期巡回サービスによる**24時間365日の介入**で、**断続的なアセスメントとモニタリング**を実施。

日々**変動する利用者のニーズ**に応じ、**迅速で柔軟な対応**を取ることで、ADLの向上や、重度化の防止を図る。

ポジティブアセスメント

yell!



利用の現状について(R5.12月現在)※御南中学校区での利用 5名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
M.I様	74歳	4	北区今	118回	3回	医療	排泄介助
W.Y様	95歳	4	南区福富	84回	0回	なし	排泄対応 更衣介助
N.M様	91歳	2	北区撫川	20回	0回	○	服薬、安否確認
M.Y様	84歳	4	北区今	98回	0回	○	排泄対応、内服、胃瘻注入
K.S様	73歳	5	南区大福	81回	1回	—	排泄、更衣介助
O.T様	67歳	2	北区島田	31回	0回	○	洗濯、服薬、買物支援
Y.K様	97歳	5	北区芳賀	65回	3回	○	排泄対応

氏名31	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
K.K様	80歳	4	南区当新田	54回	5回	なし	排泄介助.配膳
Y.H様	78歳	3	北区万成	59回	0回	○	服薬、排泄、歩行介助
M.K様	73歳	2	北区東古松	30回	0回	○	安否確認
I.T様	84歳	5	北区北長瀬	87回	0回	○	排泄対応、移乗
O.M様	83歳	5	北区平田	63回	1回	医療	排泄、口腔ケア、更衣介助
H.J様	71歳	4	北区岡町	79回	1回	他訪看	内服確認、移動介助
K.K様	79歳	3	南区大福	13回	0回	なし	内服確認

利用の現状について(R5,12月現在)※御南中学校区での利用 5名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
T.E様	90歳	2	北区西古松	35回	4回	○	服薬、安否確認
O.T様	78歳	2	南区並木町	95回	1回	○	排泄、食事提供、買物
K.M様	75歳	5	南区泉田	85回	0回	なし	排泄、食事提供、内服
K.I様	90歳	2	北区大安寺	24回	1回	○	内服確認、買物
O.S様	74歳	3	南区豊成	90回	5回	○	排泄対応、点眼
O.Y様	84歳	1	南区福富	62回	0回	○	家事援助、服薬

利用の現状について(R5,12月現在)※御南中学校区での利用 5名

氏名	年齢	介護度	地域	訪問回数	随時訪問	看護利用	主な支援内容
A.I様	73歳	3	北区番町	61回	4回	○	内服、排泄、買物
M.M様	78歳	5	北区中仙道	92回	0回	医療	排泄、吸引、胃瘻注入
J.S様	78歳	4	北区田町	96回	4回	○	排泄、内服、配膳
I.K様	90歳	3	中区平井	49回	0回	○	安否確認、入浴介助
H.M様	85歳	4	北区谷万成	39回	0回	他訪看	排泄介助、内服、配膳、更衣介助
K.K様	79歳	5	北区大供	35回	2回	○	内服、安否確認

利用の現状について(R5,12月現在)※御南中学校区での利用 5名

- ◆お客様登録数 29名
- ◆平均介護度 3.51
- ◆月定期訪問総回数 1762回
- ◆平均定期訪問回数 60.75回
- ◆月随時訪問回数 37回
- ◆新規依頼 2名
- ◆終了者 0名



症例発表

Aさん 70代男性 要介護5 パーキンソン病 男性

長年仕事に就かれており、パーキンソン病発症により動けなくなり自宅で寝たきりとなった。妻と2人暮らしであるが、妻は仕事をされており日中独居。

食欲不振をきっかけに病院へ搬送され胃瘻増設、吸引が必要となるが、本人と妻の意向で在宅療養となる。

医療保険で訪問看護1日3回、介護保険で定期巡回1日3回訪問している。

看護師で胃瘻からの薬剤注入、膀胱留置カテーテル交換、介護士又は看護師で胃瘻からの栄養剤注入や吸引、随時訪問をしている。その他は週4回訪問入浴、リハビリ介入している。

妻とエールで協力しながら自宅で生活を送っている。

yell 

症例発表

悪性神経膠腫 脳腫瘍 83代 女性 《長女様と同居生活》

治療のため長期入院となっている。退院期日迫っているが、鼻からレビン注入(栄養)、オシメ交換等一人での介護に娘様不安が大きい。一緒に支援手伝って貰うなら自宅で最期を迎えさせてあげたい。との相談戴き是非最後まで一緒に支援をさせて頂く事となる。現在訪問診療、訪問看護、定期巡回(地域密着型)、デイサービスなど資源を継続的に活用されています。最近脳腫瘍悪化され体調に変化があり、徐々にではありますが、お別れの時間が近づいておられ、主治医からもお話があり、娘様も受けいれられが出来ておられる。支援者側も最後までご家族の希望に寄り添い支援としている。

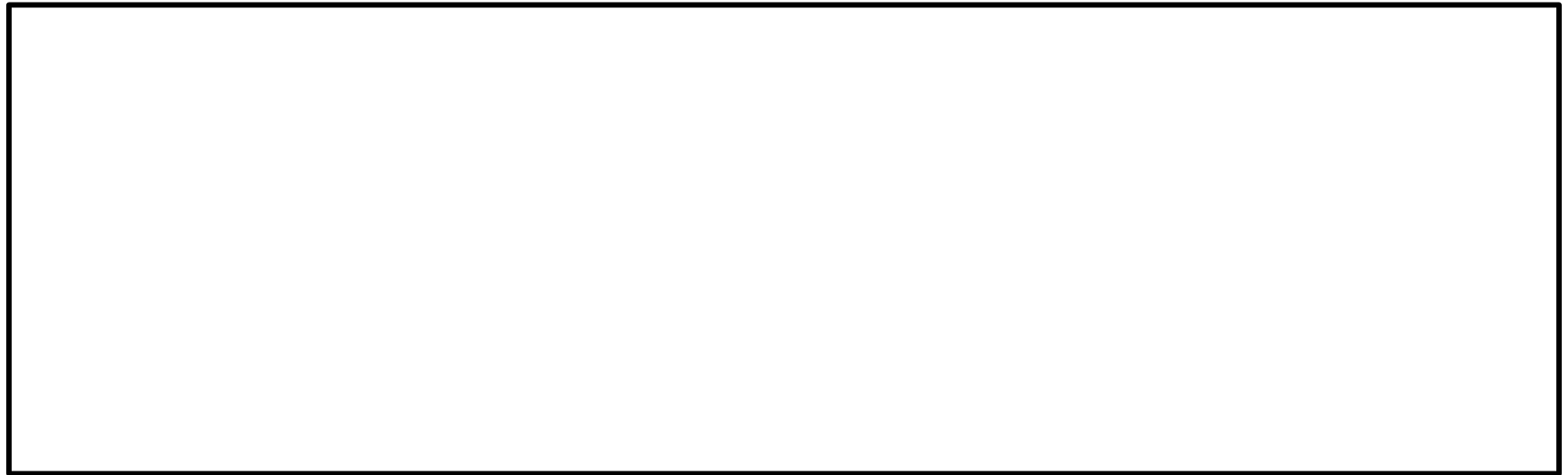
yell 

課題について

- ◆訪問エリアが広く移動に時間を要する
- ◆独居、老々世帯により買物支援が増えた
- ◆医療・介護の連携

yell! 

質疑応答/意見交換会



次回日程のご案内

令和6年8月16日(金)14:00～15:00

本日は、皆様ご多用にも関わらずお越しくださり心より感謝申し上げます。

yell!

